

UA ゼンセン・東レ労組1円募金にて、鎌倉児童ホーム のバスケットゴールおよびサッカーゴールの修繕



三浦半島地域連合・労福協の構成組織・東レ労働組合では愛の一円玉募金（上部団体であるUAゼンセンで取り組んでいる募金活動）を実施し、東レ労働組合の全16支部が輪番で各支部と交流のある社会福祉法人などに寄贈を行っています。今年は東レ労働組合鎌倉支部の順番となり、三浦半島労福協で日頃から親交を深めている「鎌倉児童ホーム」から依頼された老朽化したバスケットゴールおよびサッカーゴールの修繕工事を行いました。

工事が完了した9月22日に鎌倉児童ホームを東レ労組の佐藤支部長、三浦半島労福協中澤会長・椿副会長、三浦半島地域連合の酒井議長代行・篠原事務局長で鎌倉児童ホームを訪れて寄贈式を行いました。

園長先生からお礼の言葉を頂くと共に「早速、子供たちが新しいバスケットゴールを使用し、笑顔があふれていました。」という近況報告をいただきました。

コロナ禍で人と人との交流が難しい状況ですが、寄贈を通じたコミュニケーションにより、子供たちの笑顔が見られたことは嬉しいことと思います。

三浦半島労福協・地域連合は東レ労組鎌倉支部や他の構成組織とも連携して、今後も、鎌倉児童ホームの子供たちの笑顔につながるようなボランティア活動に取り組んでいきたいと考えています。

